



大きさの異なる2つの正方形がハの字型に1頂点を接して1つの円に内接するときは、必ず左のようになり、AA'は円の直径となるという。いいかえると右の赤いようにはならないというのだが、視認では難しい。また和算家が知っていたこの事実を証明することは難しいという。いかがでしょうか？